

# 報 廣 ふじかわ

1 月 号

47. 1. 20 発行

No. 138

町 の メ モ	
人 口	47. 1. 1. 15,451人
増減	先月より ± 0 人
男	7,601人
女	7,850人
世帯数	3,598世帯
面 積	31.09Km <sup>2</sup>

富士川町 企画課



## 火災に備えて訓練を披露

### 三町連合出ぞめ式

三町消防行政の広域化を図っている富士川町、蒲原町、由比町は一月七日、蒲原西小学校で富士川町五分団百五十人、蒲原町四分団九十人、由比町三分団百二十人の団員と町長、議会議員など関係者二百人が参加して連合出初式を行いました。

グラウンドいっぱいには整列した団員は、ポンプ操作、規律訓練を行ない、一つ一つの動作にきびきびしたところを見せ、日頃の訓練の成果を披露しました。

このあと蒲原町蛭沢川東名ガード下でポンプ車六台による放水訓練。最後に蒲原町文化センター前の国道一号線を分列行進して終了しました。

なお、式典席上、表彰された当町関係者のうち重なる人は次のとおりです。

〔県消防協会会長表彰〕

〔敬称略〕

○功績章 久保田敏男、佐野安彦

○特別功労章 花田章

○功労章 井出稔、深沢茂雄、望月司一、望月実、蓮池春雄

○25年勤続功労章 久保田敏男、佐野安彦

○20年勤続功労章 花田章

〔県消防協会清庵支部長表彰〕

○特別功労章 望月誠一、浅場勇 芦川喜一、石川文彦、丸山保

〔町長表彰〕

○優良団員 五十嵐順信、二又川和雄、齋藤保富、芦川達雄、小川庄三

〔団長表彰〕

○優良団体 若月晃、望月勲、望月偉男、望月孝一、宇佐美多一

○火の元優良家庭 若月栄、望月梅吉、稲葉彰敏、白井信名、望月虎夫

○火の元優良家庭 若月栄、望月梅吉、稲葉彰敏、白井信名、望月虎夫

# 社会体育館を建設します

## 町議会12月定例会

町議会十二月定例会は昨年十二月二十四日午前九時から新庁舎三階議場で開きました。

一般質問(十八件)を皮切りに十五の議案を慎重に審議、原案どおり可決した後、請願、陳情をそれぞれ委員会に付託して同日の午後五時三十分閉会しました。

○45年度一般会計決算認定  
○45年度国民健康保険特別会計決算認定

○45年度公共用地先行取得事業特別会計決算認定  
○46年度一般会計補正予算千三百

七十三万二千元を可決し、総額で六億五千三百六十五万七千元となりました。また公共用地先行取得事業会計、土地取得特別会計補正予算も可決されました

○町職員に関する条例の一部を改正する条例、ほか四件の条例改正に関する事。

○社会体育館の建設  
第一公民館をとりこわしてその跡地に社会体育館が建設されます。同体育館は鉄骨二階建てダイヤモンドトラス工法による、千三百十二平方メートル(約三百九十七坪)の建物で、四千四百七十万円をかけて請負者(平和建設㈱)が施工します。なお、三月二十五日に完成します。

○寄付金の採納  
小地の中川国兵・儘下町の秀村敏朗両氏は第二中学校グラウンドピアノ購入にと、五十五万円を寄付しました。

議員が十八万円を寄付  
十二月二十四日に、町議会議員十八人の全員が一人一万円ずつ、十八万円を町へ寄付しました。十二月十五日に新庁舎は完成しましたが、議場、議員控室など議会関係の施設に何かと費用がかさんでいることを憂慮、調度品のたしにと寄付したものです。

## ダンプ公害

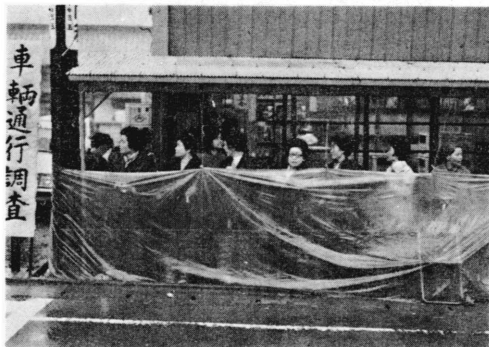
### 松野地区もこめんです

県道富士川富沢線、松野地区のダンプ公害追放を目ざし、第二幼小PTAと婦人会は、十二月二十七日午前六時から二十八日午前六時までの二十四時間、北松野秀村医院交差点横の神戸酒屋の軒下で交通量調査を行いました。

その結果、ダンプカー約二千九百台、ダンプカー以外の車両六千台二輪車二百台を記録しました。同道は先月号で詳解したとおり南松野馬坂から富士川橋までの間三・八キロが十二月十五日からダンプカーの通行禁止規制が行なわれ、木島、小山、舟山町、坂下地区の沿道住民はダンプ公害から解放されました。しかし、松野地区は依然として交通公害が激しく、悩まされ続けています。特に、幼稚園、小、中学校の学童のある父兄は、子供の通学に危険を感じていて、「一日も早くダ

ンプ公害防止を」と手始めに交通量調査を行なったものです。同日は、あいにくの雨でしたが石油ストローを持ち込み、車がまきちらすドロをよけるためビニールを張って一台一台チェックしました。

今後さらに騒音調査も実施してこの調査結果とあわせて関係方面へ訴えて行くと、PTA会員たちは話していました。



交通量調査を行なう婦人たち

センターの使用願いは

## 新庁舎へ

従来、老人福祉センターには教育委員会事務局が配置されていましたが、十二月二十日から新庁舎三階に移転したため、公民館結婚式などセンターの使用願いは新庁舎の方へ申込みください。

なお、老人福祉センターは月曜日が休館日になりましたのご承知ください。

消防車・救急車の要請は

一一九番へ

十二月十九日から庵原地区消防組合富士川消防所が開設しました。直通電話 80-1596

## ● 今月の納税

個人町県民税 第四期分  
国民健康保険税第五期分  
清掃手数料 第三期分  
水道使用料 12・1月分  
納期限 1月31日  
納付場所 納税貯蓄組合を通じて役場、銀行、農協へ納期内に完納してください。

# 富士川由比線を舗装

## 南松野主要幹線道路

南松野農道舗装を含む五件の道路工事が十二月十七日に落札し、着工しました。

①南松野農道舗装工事（富士川由比線）

町は、富士川由比線を南松野主要幹線道路として、四十三年度から巾員六分の道路に拡巾していきます。

これに伴ない多年の念願であった舗装工事が、南松野県道富士川富沢線から水の口の久保田屋商店付近まで、農林漁業資金をもって始めました。

住民の皆さんにはご迷惑をかけていますが工事に協力ください

工期 12月20日～2月20日

施工者 手島組（法月寿作）

請負額 四百七十五万円

②山田川護岸改修工事

工期 12月20日～2月29日

施工者 斎藤組（斎藤勝）



舗装工事がはじまつた富士川由比線

富士川町でも最高のハイキングコースであるこの景勝地

野田山は、富士の偉容に対し、駿河湾から遠く伊豆半島を眺望する景勝地で、家族向けのハイキングコースとして絶好なところがあります。土曜、日曜の休日にもなると一日約五、六十人のハイカーがあり、特に清水、静岡方面からのハイカーが多く利用するようです。

町の観光振興を図る仕事の一端として十二月五日、望月貢青年部委員長以下、六人（商工会）がコース案内の道標三十本をシヨイコで背負いあげ、各所へ設置しました。

### 商工会が案内標打ち

### ハイキングコース「野田山」に

工期 12月25日～3月10日  
施工者 斎藤組（斎藤勝蔵）

請負額 八百六十五万円  
⑤都市計画下水道中之郷下水道工事  
中之郷地先、米喜バルブ（株）から新幹線付近まで延長百十メートルの工事です。これより東町（小永井テックス）から富士川提防まで完成することになります。  
工期 12月30日～3月20日  
施工者 柳若月組（若月吉太郎）  
請負額 八百二十万円



案内標をうつ商工会関係者

### 二七 税務署員に 注意

最近、税務署員らしくみせかけて、私設の講習会への出席や出版物の購読をすすめ、代金を請求したり、国税局調査官と称して電話をかけ、会社の売上げや商品の単価などを調査しようとする事件が発生しています。

■こんなときにはご注意

①税務署に似た名前を使ったり税務署職員と思わせてパンフレットなどを売りつける。

②「税務署の主催で講習会を開くから参加してほしい」といって参加料を請求するとき。（税務署主催の講習会では参加料は無料）

③注文もしない雑誌やパンフレットをかつてに送ってきて、後日・半年または一年分の代金といって数千円を請求する

■被害を受けないようにするには  
①ことばづかいや態度に注意し不審な点があるときは、身分証明書を確認するか、税務署へ電話で連絡してください。

②印刷物や講習会への申し込みはその意志がないときは、はっきりとわってください。

# どんな小さなことでも

## 民生児童委員に相談を

地域社会の世話役として日ごろ奉仕活動している民生児童委員が、十二月一日に改選され、新しく十三人が厚生大臣から任命されました。最近の社会情勢の変わり生活環境の複雑化、家族構成の変化などにより社会福祉に対する問題も多くなっています。

地域の人たちの中から選ばれた民生児童委員は、向こう三年間住民の相談にのったり、指導を行ないます。どんな小さな問題でもけ

っこうです地域の委員に相談してください。

新しい民生委員は次の人たちです。

- | 氏名       | 職業         | 区名    |
|----------|------------|-------|
| 一、篠田弥天   | 僧侶         | (相生町) |
| 二、水口大礼   | 僧侶         | (上町)  |
| 三、斎藤みち   | 無職         | (堺町)  |
| 四、坪内隆子   | 〃          | (本道四) |
| 五、市川政男   | 農業         | (南町)  |
| 六、斎藤六郎   | 菓子製造業(上町)  |       |
| 七、望月荘一   | 会社員(小池)    |       |
| 八、角替健一   | 農業(木島)     |       |
| 九、天野武雄   | 鮮魚小売(東町)   |       |
| 十、浜村文字   | 農業(清水町)    |       |
| 十一、神戸鹿治  | 醤油製造業(清水町) |       |
| 十二、清水寿枝  | 無職(富士見町)   |       |
| 十三、大津かは子 | 〃(大北町)     |       |



町長から委任状を受ける新委員

### 歳末共同募金

# 五十二万円

歳末助け合い共同募金運動は、十二月一日に始まり、三十一日に締切りました。

その結果、現金五十二万八千五百三十四円、現物五十二万八千五百三十四円、合計一億零四万八千五百三十四円が集まりました。これはすべて町内の生活困窮者各福祉施設に配布しました。

町社会福祉会(中川国兵衛会長)は募金に協力くださった町民の皆さんに善意を感謝しています。

総額 五十二万四千三百三十三円

(内訳)：品以外 単位(円)

- 仏教会 区長会 一〇一〇二九
- 婦人会 一六一一三〇
- みかん 三八五キロ
- 役場職員一同 四二二一七
- 仏教婦人会 五〇〇〇〇
- さくら台幼稚園 八二〇〇〇
- 新井部農会 五三三三
- 町議会一同 一八〇〇〇
- イハラケミカル工業 五二五七
- 一小校内委員会 四一九九二



一小児童から募金を受ける収入役(町長代理として)



百人一首で、坊主めくりという遊び方は、誰も経験していると思える。中央に積んだ絵札を、一枚づつとって、坊主が出ると、持札を

場に出し、姫が出ると、場の札が取れる。「姫でろ、姫でろ」と子供たちは掛声をかけて札をめくっている。力の差も技の差もない運風天賦で、絵札をめくるときは、なかなかスリリングである。

私は、百人一首といえ、この坊主めくりを少年の頃、姉たちとやったことがあるだけである。ポロポロにすり切れた絵札の坊主や、姫が、遠い世界から少年の私に、笑いかけていたのを、ハッキリ覚えている。平安朝の公達の笑みは私には現実には体や心に感じられたのである。

考えてみると、姫でろ、姫でろという、子供の必死の掛け声は、童心の背後に芽生えつつある性の重みを照応する詩的イメージに満ちている。

夕食のひととき、百人一首を広げる家庭も多いだろう。父親が怪しげな節廻して朗詠する私の処では、中学生の息子は、相聞歌に顔を赤める。露骨なマンガには感じないだろう種類の、息子の胸のときめきを、私は喜んでいる。

社会教育主事 池谷九万夫

# 大型車通行禁止

## 国道一号線(10時~6時)

昨年十二月十六日から富士―由比バイパス「新富士川橋」の夜間(午後十時~午前六時)通行料金が無料になり、これに伴う国道一号線、由比町寺尾の三差路から富士川橋西端までの十・八キロの間が同じ時間帯の大型車通行禁止になりました。

国道一号線側道の住民は、毎日二万台、(夜間四千台)からの大型車による騒音、排気ガス公害で悩まされていたが交通公害から夜間だけでも大幅に解放されることになりました。

国道一号線を通行する、一日二万台からの車両によって沿道住民に及ぼす騒音、排気ガスなどの交通公害は、多年の懸案として問題視されてきました。

この対策として県は、昨年四月に富士―由比バイパスを開通させ、庵原郡下の交通緩和を図りました。しかし、富士―由比バイパス「新富士川橋」の有料、富士市側の国

道一号線に取り付ける道路の一部が未完成のため、ほとんどの車両が従来の国道一号線を通行するという新たな問題が起きました。三町(富士川・蒲原・由比)当局は国、県、日本道路公団に現状を説明、新富士川橋の無料開放とともにバイパス利用を各方面に訴えてきました。

その結果、日本道路公団各古屋支社は、せめて夜間だけでも国道一号線沿道住民を交通公害から解放しよう―と昨年十二月十六日か

ら、富士市側の国道一号線へのバイパス取り付け道路が完成する三月三十一日まで、新富士川橋の夜間(午後十時~午前六時)通行料金を無料にするを発表。これに伴って県警本部は、由比町寺尾の三差路から富士川橋西端までの国道一号線を夜間(午後十時~午前六時)大型車の通行を昨年十二月二十日から禁止しました。

ただし、路線バスと庵原郡下に事業所や車庫があつて国道一号線を利用する車両は、蒲原警察署に(大型車通行許可申請書)をだし、許可を受ければ通行できます。これにより、夜間の大型車はほとんど郡下を通行しないので、沿道の住民は大喜びで「この状態がいつまでも続いてほしい、できれば昼間の大型車もバイパスを通行させてください」といっています。

しかし、富士市側の取り付け道路が三月三十一日に完成すれば、バイパス「新富士川橋」をまたもとの有料に戻す計画で、完成されたバイパス道路を通行しても、国道一号線を通った場合とは五、六分しか短縮されず、新富士川橋の無料開放がない限り交通公害は解消されたとはいえません。

三町当局は、四月一日以後も無料にしていたらしく関係機関に陳情する方針です。

### 十二月俳句会

吼素人

開け閉てに人の匂ひす冬がすみ

龍 膳

末枯れを来て産月の足袋を脱ぐ

たま

霜柱句作ることを学とせり

幸子

貼り替えし障子に未だ灯さざる

つね子

遠山の日和まどかに大枯野

大景にいどみ、よくとらえ得

た句

裕子

大根引く大き屈伸曇飛べり

大根を抜き上げた勢、と白雲

智子

枯るるもの枯れて銀音たしかな

り

当日の席題「板木」

板木とは寺院で僧の生活の合図に叩く文字絵などのかかれた板のこと。

冬木

板木聴くわが仏心俄かなる

雄次郎

古寺や師走の風に板木鳴る

八子

寒行のはじまるらしき板木かな

(文協理事 影島智子記)



# 新春風上げ大会

こども会



楽しそうな子どもたち（一中グラウンドで）

町内の子ども会単位でそれぞれ一チーム四個の凧を作り、上り具合、創造性（型、絵）を競う新春子ども会凧上げ大会が一月九日、一中グラウンドで開かれました。  
当日は少し風が弱かったが絶好の日よりで十七の参加チーム（約二百人）は元気に、やっこ凧、飛行機凧、三つ角、四角の凧にチーム

「四度Cのときの純水一立方分の目方を一グラムという」別段、学がありぶる訳ではないがとに角四度を界に高くなっても低くなっても体積が膨張する。したがって凍らせると管がふくらむ。実験によるとビニール管で二回、鉄管で四〜五回凍らせると疲労してパンクする。或は凍結温度が甚だしいときには、双方とも一回でハゼること

## 水商売

があるものだ。ハゼても凍っているので水は漏らないが、十時頃になって溶けると一斉に電話が鳴り出す。昭和三十八年一月二十五日（北陸豪雪のとき）などは夜九時頃まで町内を修繕して廻ったことがあった。水道管やメーターだって寒いから是非オーバーを着せてやってもらいたい。

水滴子

の名前やマンガなどを書いた苦心の作品を、一つの凧に四人くらの組になって一生懸命上げていました。どうしても上らず汗びっしょりになって走ったり、糸の位置を変えたりしていろいろ工夫しているチームもありました。  
指導者や父兄の人たち（五十人）も子どものころをなつかしみながらいっしょになって上げていました。  
なお、成績は次のとおりです。

一位 ことばと会（坂下）  
入選 しんせつ会（旭町）さきなみ会（木島）わかきさ会（上町）いずみ会（四十九）  
にこここ会（新町）みどり会（本通三・四）

46・11・20・12・19



## おめでた

（敬称略）

区名 出生児 保護者 続柄  
上町 一条美紀子 信久 長女  
坂下 常盤晃生 恵衛 三男  
坂下 滝江津子 悦雄 長女  
相生町 平塚祐樹 亮司 長男  
小永井美紀 茂昭 長女

## よろこび

区名 新 婦 旧姓  
相生町 森川正信 やよい 高橋  
川坂 大石利征 保子 鈴木  
旭町 北沢秀夫 つゆ子 伊藤  
上町 植松勝己 あや子 和泉  
川坂 平岩康夫 宥子 土橋  
新町 若月 章 浩子 杉本  
四十九 内野英治 光代 牧田  
宮町 国保国夫 月美 佐野  
本通一 三浦 進 和枝 稲葉  
南町 川崎育之助和喜子 楠  
八幡町 高橋 進 松子 真田  
望月義雄 スエ子 望月  
八幡町 望月義雄 スエ子 望月  
廣野雄一 いみ子 栗城

## かなしみ

区名 氏 名 年令  
小山 常盤愛作 八七  
坂下 望月政五郎 七一  
四十九 中田ハツ 八五  
宮町 佐野武子 三二  
本通一 星崎四郎 三〇  
南町 天野年章 三八  
かきあな 望月友次郎 八三  
南町 田辺キミ 八五  
加藤豊子 三五

## おしあわせに

区名 氏 名 転出先  
相生町 齋藤房子 富士市  
上町 鈴木有子 〃  
坂下 沢村美恵子 〃  
旭町 齋藤静江 浜松市  
八幡町 渡辺礼子 清水市  
堺町 若月いよ子 富士市  
四十九 袋 敏子 〃  
宮町 吉原イミ 蒲原町  
小池 寺下貴美子 由比町  
南町 浦田睦子 金谷町  
南町 小林晴江 富士宮市  
大北町 錦織淳子 富士宮市  
大北町 小林一子 富士宮市  
儘下町 桐山信子 富士市